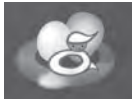


主な内容

- 会長挨拶
- 令和六年度活動方針
- 令和六年度組織表
- 大会宣言



# 会報

全国国公立幼稚園・こども園長会

## 国公幼の役割と国公立幼稚園・

## こども園の存在意義

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 高橋 慶子



去る六月十四日、十五日に、第七十五回全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会（愛媛大会）が開催されました。令和六年度の新理事も決まり事業や活動がスタートしました。会員の皆様と共に力を合わせて活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。ご勇退の常任理事、理事の皆様には、この場をお借りして、国公幼にご尽力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。

**【全国国公立幼稚園・こども園長会、各園公立幼稚園・こども園の役割】**

愛媛大会では、私から「国公幼」の使命を果たしていくために次の事柄についてお伝えしました。

- 幼児教育施設のリーダーとしての責務と地域への貢献を果たす。
- 全国組織として関係諸機関や団体との連携を大事にする。

○人材育成と環境整備に努める。

○国や自治体の最新の動向の把握と情報の共有、迅速な対応をする。

○国や自治体に要望や意見を提言する。

これらは、園長自身が学び続け、最新の情報を得て、視野を広げ、地域を超えて学び合い、つながり合うことでできることです。全国組織としての国公幼があるからこそ、園長先生方と共に活動を進めることができます。力を結集して国公幼の組織を、大事にしていきたいと思います。

**【持続可能な組織としての国公幼へ】**

日本の幼児教育の振興と発展を目指していくために、国公幼の果たす役割は大きいと考えます。将来を見据え、現状を鑑み、国公幼を持続可能な組織へと移行していくため、今大会で承認を得た次の事柄について進めてまいります。

- 令和十年度より総会・研究大会は東京都に固定し、大会の持ち方については検討する。
- 特別資金（寄付金）を一口二千元、一口以上とする。（令和七年度より）
- 機関誌「幼児教育じほう」は年間十冊発行し、五千四百円を維持する。
- 賛助会員を年間一口二千元で、一口以上で募集する。
- 賛助会員につきましては、国公幼の趣旨をご理解していただける個人の方（現役員及び同等の方は省く）OB・OG等の寄付をどうぞよろしくお願い申し上げます。

げます。

そして少子化に伴い園児数と園数、園長数が減少しております。結果、本会の収支や今後の手立てについて検討会を立ち上げて、審議を重ねてまいります。会員の皆様にはご賛同いただき、感謝申し上げます。

**【幼児教育の質の向上へ向けて】**

文部科学省幼児教育課より、六月十四日に「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会中間整理案」が出されました。国公立幼稚園等の役割が記載されており、その存在意義が見直されています。全国の国公立幼稚園・こども園の長年の研究と研修に裏付けられた幼児教育の実践は、幼稚園教育要領等に則り、教育の公平性と中立性を保ち営まれてきました。その価値は高く、国や地域の「教育資源」であると言われているのだと感じます。そしてこれからは、「教育資源」を核として、幼児教育のみならず地域全体の教育力の向上に貢献していくことも期待されています。その責務を果たしていくためにも、教育の本質を見失わず、幼稚園教育要領等に立ち返り、質の高い幼児教育の実践と、全国の仲間との情報共有による研鑽を積んでいくことが重要だと考えます。

先述しました有識者検討会は、次期幼稚園教育要領等の改訂に向けての趣旨も含まれております。国の動向にも注視しながら園経営を進める中で、なくてはならないもの、変えていくもの等を見極めたいものです。そのためには、全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会とも力を合わせ、子どもたちのウェルビーイングのために、皆が気持ちを一つにして歩んでまいります。